

# テンプル大学ジャパンキャンパス

---

## メンタルヘルス対応



## ルールベースの行動規範

デブレイ ニコール ・ 学生サービス部 ・ ディレクター

# 学生サポート

---

## TUJ CARE Team

— *Crisis Assessment Response & Education*

- 8人のチームメンバー (教授、スタッフ、副学長)、隔週会議
- 問題行動または発言を目撃した教職員がTUJ CAREメールにコンタクト
- CAREチーム内で情報交換し、当該ケースについて対策を検討
- 自殺や深刻な状況でない限り、親・保護者に連絡しない。連絡する場合は、本人に了承を得る

# 学生サポート

---

## 障がい学生支援室

(*Disability Resource Service - DRS*)

- 身体・精神・学習の障害を持つ学生への対応
- 常時約70人が登録。60%は学習障害と精神障害
- 本校のDRSオフィスが対応を決定する
- 教授陣に徹底した最低限の対応を指示
- 学生が自身で責任を持って教授にDRSリクエストを提出する。

# 学生サポート

---

## カウンセリングオフィス

- スタッフ4名—2人PT/2人FT
- 自殺及び他害行為の疑いがない限り、守秘義務が発生する。
- CAREチームに参加する際、学生の許可がある場合のみ、カウンセリングセッションの内容及び学生の現状について開示できる。

# ルールベース行動規範

## テンプル大学の行動規範の基本

- 26ページの本体と別に各ポリシーのデータベースがある
- 必要に応じて修正が行われ、2-3年に一回全体の規範とポリシーのレビューがある
- 規範は2本柱の構成：学問的誠実性と行動規範の遵守
- 学問的不正、ハラスメント、性的暴力、DV（家庭内及び交際相手）の定義が明記されている
- 制裁も明記。特に、飲酒に関する制裁は厳しい

# ルールベース行動規範

---

## 苦情から処罰決定までの流れ

- OSSが苦情の窓口・事実関係確認
- 当該学生と面談し、処罰が記載されている同意書にサインさせる
- 申し立てを否認した場合
  - 5-6名の臨時委員会を招集する
  - 多数決で決定される
  - 同意書より重い処罰

# ルールベース行動規範

---

## Title IX

- 1972年：新たな公民権法が施行。大学での男女差別は禁じられる
- 1980年～1990年：法律が修正。セクハラが差別の中に含まれる
- 2011年：オバマ政権時にTitle IXの範囲が更に拡大されて、強化された
  - トランスジェンダーも含む
  - 学校側の迅速な対処及び報告義務の強化
- 本校でTitle IXのケースは通常の行動違反のケースと異なる
  - 裁判のような形をとる
  - 退職した裁判官が聴取
  - 裁判官が制裁の指示を告げる
- 米国ではTitle IXコーディネーターが義務付けられている  
(TUJでは副Title IXコーディネーターを任命)

---

# *Thank you!*

